

組合員数116,586人  
支部数 938  
読者数 69,850人  
(5日現在)  
(連絡先) ☎03(5978)2751 FAX03(5978)2777  
E-mail/honbu@nenkinsha-u.org  
ホームページ/年金者組合と入力し検索して下さい。

# 年金者しんぶん

第362号 2020年2月15日(土)  
(通巻第561号)  
全日本年金者組合中央本部  
〒170-0005東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル  
発行人 金子 民夫 月刊1部100円(組合費を含む)  
昭和57年6月30日第三種郵便物認可

## 子どもたちも「ありがとう」

### 通学の安全守りつづける組合員たち

子どもたちをとりまく人間関係を豊かにすること、親や教師以外の「斜めの関係」で子どもと関わる人がたくさんいることが大事だといわれています。永年にわたり、地域で子どもを守り、育てる活動をしている仲間たちを紹介いたします。



テレビ朝日で放映された山本さん

千葉・鎌ヶ谷支部 山本利夫さん

「この道は通学路なんだよとわかってもらうため」です。「車に」止まってもらっているという気持ちで、指示している。あと4、5年がんばれば信音がつくと。それまでは」と語り「人のために続けることが元気の秘訣」とあくまでも謙虚です。

そんな山本さんに近所からは「体を張ってやってくれている。すごい助かっている」と、感謝の声いっぱいです。



交通整理をする祥子さん

祥子さんは知的障害を持つ子どもの保育、児童相談所などで仕事をしました。が、心臓疾患のために退職。健康回復した

## 交差点で交通整理12年



「そんな大層な活動はしていません」と謙遜する横田さん夫妻

千葉・鎌ヶ谷支部 山本利夫さん

「この道は通学路なんだよとわかってもらうため」です。「車に」止まってもらっているという気持ちで、指示している。あと4、5年がんばれば信音がつくと。それまでは」と語り「人のために続けることが元気の秘訣」とあくまでも謙虚です。

## 登校に連れ添い20年

埼玉・深谷支部 横田祥子さん、正利さん夫妻

「そんな大層な活動はしていません」と謙遜する横田さん夫妻

横田祥子さん(69) 玉・深谷支部)が夫の正利さんと一緒に朝7時20分から8時20分まで岡部小学校まで子どもたちと一緒に登校する活動を始め、20年になります。

「そんな大層な活動はしていません」と謙遜する横田さん夫妻

と進んで参加・協力しました。初めは「通学の同行など過保護ではないか」と批判的だった人まで同行メンバーに加わりました。



読み聞かせする横田さん夫妻

「毎朝、信号のところで校門のところで私たちを見守ってくださり、ありがとうございます。横田さんやパトロールの方々のことは忘れません(卒業児の由衣ちゃん)などの手紙や、地域の人たち、学校の先生たちからの「ありがとう」の声を支えに、「体が動くうちは倦まずたゆまず、やっています」と笑顔です。

**2020年 第31回 機関紙コンクール 開催について**

2020年第31回「年金者しんぶん」機関紙コンクールを左記の要項により行います。全都道府県本部および支部からの積極的な応募をお願いします。

- ◇対象紙1年間を通じて定期発行している都道府県本部および支部と各女性部の機関紙誌で3月と4月に発行したもの。
- ◇締め切り5月15日(金) 中央本部必着。
- ◇応募方法1各号とも10部、封書の表に「機関紙コンクール参加」と朱書きを。
- ◇選考基準1中央本部の機関紙コンクール「審査基準」により、最優秀賞、優秀賞、入賞、努力賞を選出する。
- ◇選考委員会1中央本部役員、編集委員から10人程度と日本機関紙協会の代表で構成。
- ◇発表・表彰16月9・10両日開催の中央委員会会で発表・表彰。最優秀賞および優秀賞は副賞を呈呈する。

▼元禄 13(1700)年 創業、山形百貨店「大沼」が破産した。山形市には4つの百貨店があったが、2000年から閉店がいつ、大沼「破産」百貨店は消滅した。

▼百貨店はじめ商店不振の原因の一つが注文の翌日には配達「アマゾン」の膨張がある。高級品でも何でもパソコン、スマホをクリックすれば自宅に希望した商品が届く。

▼アメリカ生まれの「アマゾン」は創業25年。社長のジェフ・ベゾスは世界一の資産家である。しかし、倉庫の派遣労働者、配送の下請業者は低賃金で過酷な労働を強いられ、小田原物流センターではこの4年間で5人も死亡している。会社はノーコメントで香典もなし。

▼米英では「アマゾン」の低賃金が社会的問題になり、時給が引き上げられた。春闘の季節。派遣労働者、パートタイマーの賃上げ、人間的な働き方の実現へ、年金者組合も力を発揮しなくては。

## 風雪

13(1700)年 創業、山形百貨店「大沼」が破産した。山形市には4つの百貨店があったが、2000年から閉店がいつ、大沼「破産」百貨店は消滅した。